

中根小の自然

第2号 2008年6月24日

< タイサンボクが咲いています >



タイサンボク
(モクレン科)
Magnolia grandiflora

タイサンボクのつぼみ(左)と花(右) 2008/6/19 中根小

校庭の西側、ウサギ小屋の近くに、背の高い、大きなぶ厚い葉っぱをつけた木があります。そしてその大きな葉がぐるっと羽根車のように並んだ上に、これまた大きな花やつぼみがドーンと座っていて、次々と咲いてきます。

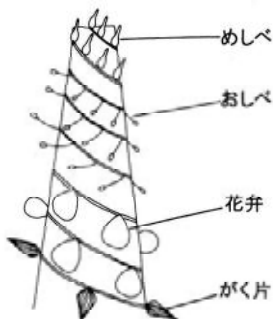
北アメリカ原産の常緑樹(冬でも葉をつけている木)で、コブシやホオノキなどと同じモクレン科、モクレン属というグループの仲間。とてもよく似た花をつけます。



コブシの花 2007/3/5 つくば市



ホオノキの花 2005/6/3 つくば市



花をよく観察してみると、ガクと花弁の区別がつかないのが9枚、雌しべも雄しべもたくさんあって、それらがらせん状に並ぶ原始的なつくりをしています(左図)。また香りが強く、特に朝夕やくもりの日にはさわやかな甘い香りが漂い、花粉を運んでくれる昆虫を引き寄せます。ただし昆虫の食料となるのは花粉で、蜜(みつ)は出しません。和名(日本での呼び名)泰山木<たいさんぼく>は、花や葉が大きいのをほめたたえてつけられたものだそうです。